

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	fun		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 1日 ~ R7年 11月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	R7年 1月 1日 ~ R7年 11月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 12月 25日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	成長に合わせた、先を見据えての支援の提供。 就労準備型という特色を単位の中で持ち、取り入れている。	就労施設を職員が知る事・保護者様に見学の機会を設けることを行っている。	就労施設だけでなく、共同生活援助等福祉サービスを幅広く知っていただく機会を更に設けていく。
2	季節行事を通して、保護者同士の繋がりだけでなく地域を巻き込んだ取り組みを行っている。	アンケートや実際に保護者様に取り組んでほしいことを伺い、反映できるようにしている。	参加率を高める工夫や満足度の高い企画提案を常に向上心を持って取り組む。
3	関係機関各所との連携がとれるようにしている。	自立支援協議会や放デイ会議等に参加する中で、繋がりを大事にしている。	会議等は積極的に参加し、関係機関とのコミュニケーションをしっかりととるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	柔軟な活動の企画を行うことで、利用者ご本人の満足度と同時に、保護者様の満足度も高めていく必要がある。	個別対応の利用者が多いため、職員が安全上足りないケースがある。	職員の企画力向上とともに、安全に取り組める職員配置を検討していく。
2	活動内容によってのスペースの確保不足。	部屋の中での活動時（特に運動系）、狭いと感じることがある。	既存の部屋を有効利用し、仕切りのドアをとる等改善しながら、利用者にとって過ごしやすい環境を整える。
3	施設内を清潔に保つための、掃除以外での工夫が必要。	床面が汚れやすく、掃除の頻度だけでは解決が難しい。	床面にマットを敷くや、上履きの検討をし改善の必要がある。